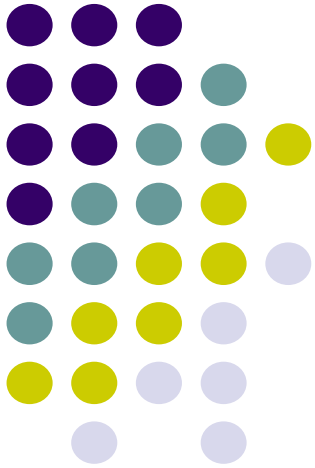
決　算　説　明　資　料

（2012年3月期決算）



2012年5月15日

東証2部・大証2部

オーナンバ株式会社

目次

1. 決算の概要（BS、PL、C/F）
2. セグメント別業績
3. 2012年3月期のトピックス
4. 2013年3月期の経営戦略
5. 2013年3月期の業績予想

１．決算の概要

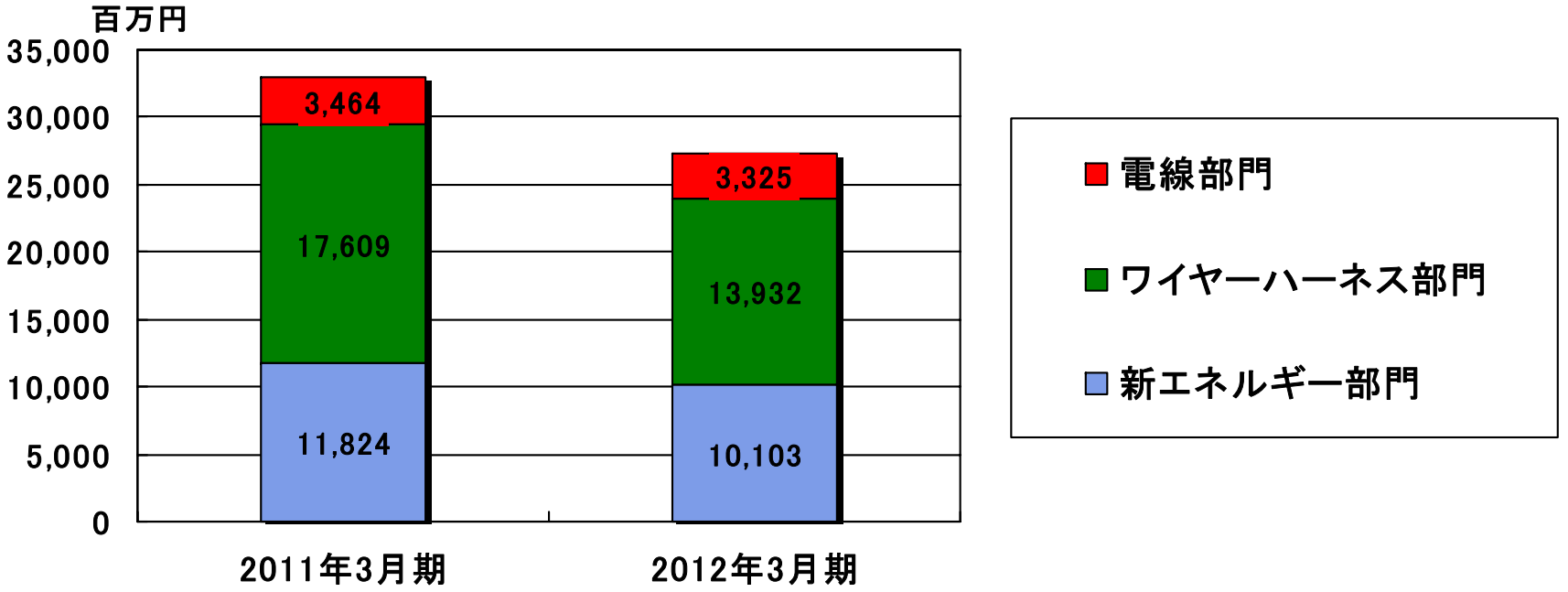
－ＰＬ－　　『売上高・利益とも前年を下回る』

（単位：百万円）

科目	2011年3月期		2012年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	32,898	100.0%	27,361	100.0%	△5,536	△16.8%
売上原価	25,787	78.4%	22,136	80.9%	△3,651	△14.2%
販売費・一般管理費	5,103	15.5%	4,517	16.5%	△585	△11.5%
営業利益	2,007	6.1%	707	2.6%	△1,299	△64.7%
営業外収支	△52	△0.1%	81	0.3%	134	－
経常利益	1,954	5.9%	788	2.9%	△1,165	△59.6%
特別損益	179	0.5%	△73	△0.3%	△253	－
当期純利益	1,704	5.2%	277	1.0%	△1,426	△83.7%

・売上高：主力製品の薄型テレビ内部配線用ハーネスと太陽光発電配線ユニットの売上が減少した。
・販売費・一般管理費：荷造運送費（△２８８百万円）、給与・手当（△１１６百万円）等が減少した。
・営業外収支：為替が差損から差益に転じた（前期△１０２百万円→当期２７百万円）
・特別利益：前期は子会社の株式追加取得に伴う負ののれん益の発生（３４１百万円）があった。
・特別損失：当期は株価下落により投資有価証券評価損が発生（８１百万円）した。

【部門別売上高】



・新エネルギー部門：太陽光発電配線ユニットの売上が減少。
・ワイヤーハーネス部門：主に薄型テレビ内部配線用ハーネスの売上が減少。
・電線部門：国内の設備投資の停滞により売上が減少。

【主要製品別売上高】

（単位：百万円）

	2011年3月期	2012年3月期	増減
太陽光発電配線ユニット	11,756	9,957	△1,798
薄型テレビ内部配線用ハーネス	5,658	2,999	△2,659
自動車搭載部品用ハーネス	866	906	40
アミューズメント用ハーネス	638	462	△176
工作機械用ハーネス	401	479	78

・太陽光発電配線ユニットは、各国の政策投資の抑制による太陽光発電需要の減退が影響。
・薄型テレビ内部配線用ハーネスは、2009年3月期をピークに売上が減少傾向が続いているが、2012年3月期は昨年7月の地デジ移行による需要急減が影響し前年比半減の結果になった。
・アミューズメント用ハーネスは、震災後の節電気運で投資が抑制された。

【設備投資の状況】

（単位：百万円）

	2011年3月期	2012年3月期	増減
有形固定資産取得額	651	919	268
減価償却費	580	593	13

主な投資内容

中国子会社工場移転	２３１百万円	⇒	河川拡張に伴う移転
カンボジア子会社工場建設	１８７百万円	⇒	ワイヤーハーネスコスト低減対応
ベトナム子会社設備増設	１８８百万円	⇒	太陽光発電配線ユニット仕様変更対応

【人員増減】

	2011年3月末	2011年9月末	2012年3月末
従業員	5,236人	4,184人	4,048人
臨時従業員	280人	271人	247人
合計	5,516人	4,455人	4,295人

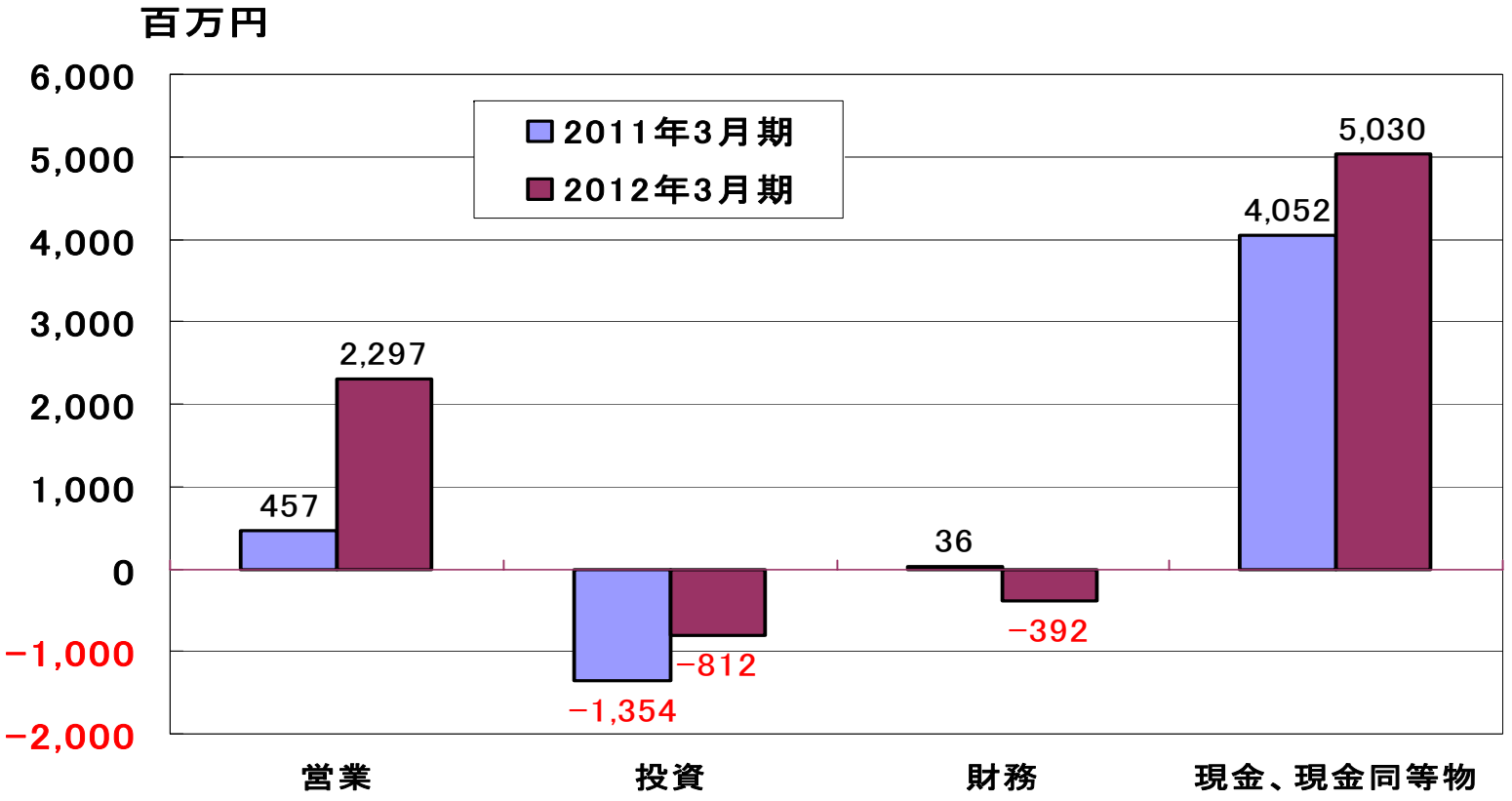
－ＢＳ－　　『受注の減少に応じ資産・負債とも減少』

（単位：百万円）

科　目	2011年3月末		2012年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	18,851	77.9%	17,138	76.2%
（現金及び預金）	4,272	17.6%	5,250	23.3%
（売掛債権）	8,974	37.1%	7,082	31.5%
（棚卸資産）	4,836	19.8%	4,229	18.8%
固定資産	5,359	22.1%	5,362	23.8%
（有形固定資産）	3,636	15.0%	3,479	15.5%
資産合計	24,211	100.0%	22,500	100.0%
流動負債	9,069	37.5%	8,471	37.6%
（買掛債務）	5,819	24.0%	4,413	19.6%
（短期借入金）	1,995	8.2%	2,605	11.6%
固定負債	3,739	15.4%	2,697	12.0%
（長期借入金）	2,964	12.2%	2,172	9.7%
負債合計	12,808	52.9%	11,169	49.6%
純資産計	11,402	47.1%	11,331	50.4%
負債・純資産合計	24,211	100.0%	22,500	100.0%

・受注の減少に伴い、運転資金が減少 ･･･ 売掛債権、棚卸資産、買掛債務。
・借入金は減少。（△１８２百万円）
・利益剰余金は増加したが為替換算調整勘定のマイナスが増加したため純資産は減少。

-C/F-　【キャッシュフローの状況】

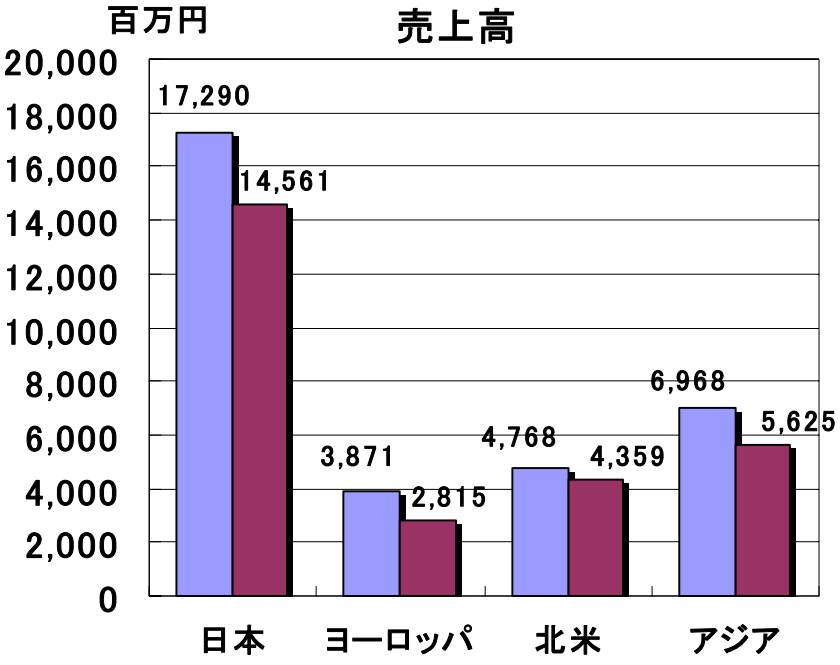


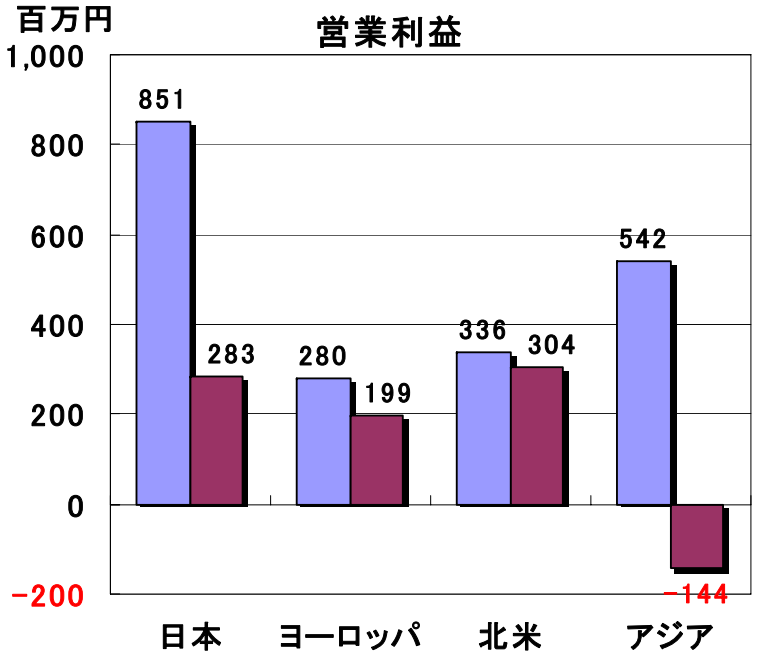
営業C/Fは当期純利益に加え運転資金減少で前年度よりキャッシュインが増加。投資C/Fは有形固定資産の取得によりキャッシュアウト。財務C/Fは借入より返済が多くキャッシュアウトとなる。

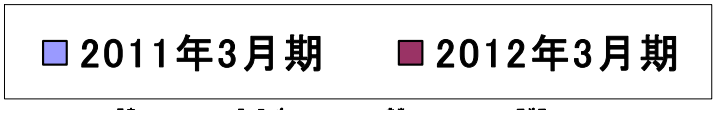
２．セグメント別業績

【セグメント別売上高・営業利益】

日本とアジアの売上高・営業利益が前年度比べ減少した。（アジアは営業損失）







３．２０１２年３月期のトピックス

① ユニオンマシナリ社の経営権を取得

２０１２年3月に神奈川県に本社を置くユニオンマシナリ社の株式取得の契約を行いました（同年4月に株式を取得）。同社は自動車用、電子・電気機器用のコネクタとその関連製品の製造・販売を行う会社です。

② 太陽光発電のモニタリングを行う合弁会社を設立

２０１２年３月に大阪市に本社を置くテス・エンジニアリング社と太陽光発電のモニタリングを主たる業務とするインテリジェントソーラーシステム株式会社を設立しました。７月の全量買取制度開始を機に、PVU-Finderの受注拡大に努めていきます。

※PVU-Finder ･･･ 太陽光発電モニタリングシステム（当社登録商標）

③カンボジアにワイヤーハーネスの生産子会社を設立

２０１１年４月にカンボジアにワイヤーハーネスの生産子会社を設立しました。同社は２０１１年１１月より操業を開始しております。

４．２０１３年３月期の経営戦略

① 東南アジア子会社の再編

各子会社の需要予測、生産能力を再検討した上で、生産拠点の集約等を行い、各子会社の黒字化を図ります。

② 中国国内販売の強化

中国子会社2社の営業体制の見直しと強化を行い、売上増を図ります。

③ 材料の現地調達の推進

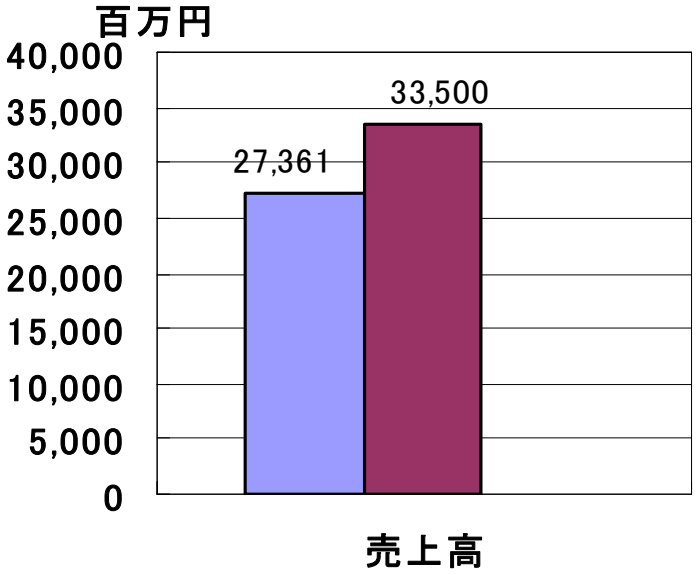
現地部材メーカーの発掘を行い、原材料の調達方法、調達価格の見直しを行うことで原価低減を進めていきます。

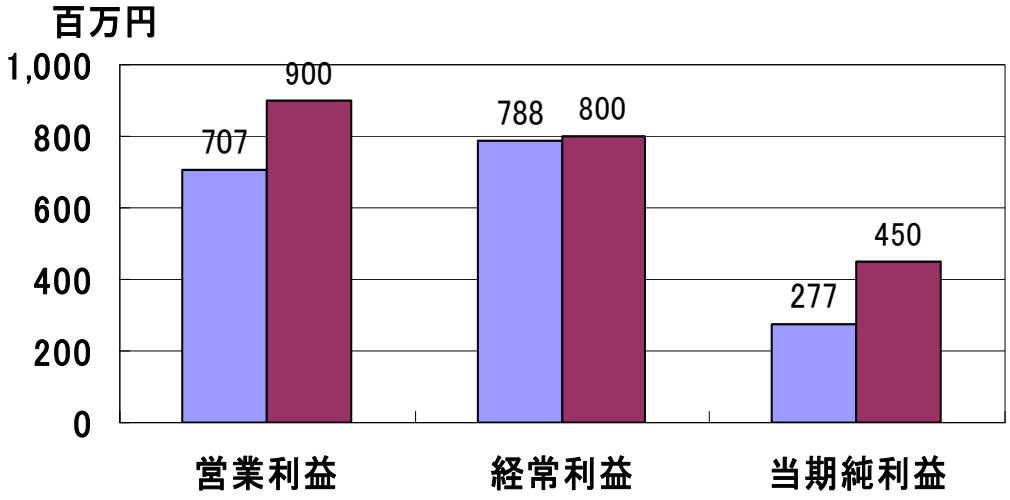
④ 新製品開発の促進

新エネルギー、ロボット、車載等の製品開発を促進します。

５．2013年3月期業績予想

今期の業績予想は足元の需要予測を基に作成した。
年度後半に太陽光発電の全量買取が開始され需要が増加するものと予想する。







本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。